

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

						担当課	商工振興課
総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	商工業の活力を高める	取組の 基本方向	「商工業の活力を高める」ため、商店街が活気にあふれ、地域コミュニティの核としての多面的な機能も発揮するための「商店街の魅力向上」、中小企業を持続的な成長を支えるための「中小企業の経営・技術革新の促進」、企業経営における基礎体力を強化するための「安定した経営基盤の確立」、多様な消費者ニーズに応え安定した商品供給を実現するための「市場機能の充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、本市の商工業の活力が高まっています。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策	商店街の魅力向上	施策指標(単位)						達成率 (%)		
		H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標			
②施策目標	商店街が、市民の日常生活やまちづくりを支えながら、活気と賑わいにあふれています。	-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	64.8%		
施策 取	国・県等の 動向 平成21年8月に「地域商店街活性化法」が施行され、同法に基づく事業計画が国内で76件認定されている。買物弱者については全国的な課題となっており、課題解消のための商店街に対する期待は大きい。 デフレの継続による個人消費の落ち込みに、東日本大震災が拍車をかけた状況である。中心市街地の空き店舗数は120件前後で微増・微減を繰り返している。 外部意見 その他 22年6月議会で、「民間の知恵を取り入れ、本格的な中心市街地活性化対策に乗り出すべき」、12月議会で、「空き店舗問題については、商店主、地権者、大型店舗などの関係者を集めて調査・検討を行っているが、その調査・検討結果を生かし、速やかに空き店舗への対応を図ることも重要である」と指摘されている。	指標① (総合計画に基づく指標)	-----	132,000	134,500	137,000	139,500		143,000	
		指標②	-----							#DIV/0!
		指標③	-----							
		指標④ (特記事項)	-----							-----

⑤市民意識調査結果	市民の 施策満足度 8.5%	市民の 施策重要度 65.0%	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	●	達成していない (70%未満)	説明	消費の低迷、主要店舗の相次ぐ撤退等の影響により、休日の中心商店街の通行量は目標を達成していない。	⑦現状分析と課題の抽出 ⑥え分析)	成果が見られる点	「中心商業地出店等促進事業補助金」については、出店舗数が伸びているなど、目標値を達成している事業もある。平成22年度に「空き店舗対策連絡協議会」を開催したところであり、検討結果を受けての事業見直し・新事業実施等により商店街の活性化を図り、施策目標値の達成に努めていく。
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している	●	減少している	説明	商店街を取り巻く環境は年々厳しくなっている中、地域経済の活力の維持・向上に向け、早急に商店街を活性化させる施策が求められている。		改善の必要な点	世界的な不況の影響を受け、休日の通行量は目標値を達成していない。目標達成のためには、各商店街の特色ある新たな事業展開が求められており、そのためのコンセプトづくりが重要である。また、商店街等がより主体的に活性化に取り組む体制づくりが必要である。今後、目標値の達成に向け、引き続き商店街の賑わい創出事業の着実な推進に努める。
			適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	●	十分である	●	不十分な事業が複数ある	説明	手法については概ね適切であるが、事業の更なる活性化、特に地域商店街への支援の充実を図る必要がある。			
			有効性 (政策目標への効果)	●	十分である	●	やや不十分である	説明	商店街の賑わいを創出する事業を展開していることから、商店街の活性化に一定の効果はあるが、実績値は減少しており、目標を達成するには事業の見直しが必要である。			

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	社会環境の変化とともに地域コミュニティの核として、商店街に求められる役割も変化していることから、より有効な手法の検討や現行の事務事業の改善の必要がある。商店街等が主体的に活性化に取り組む体制を強化するための支援を行い、中核都市にふさわしい活気にあふれた商店街の形成を図る。	➡	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> 社会環境の変化により商店街に求められる役割も変化しているため、商店街の魅力を上向きさせるためのより有効な手法の検討や現行の事務事業の改善の必要がある。商店街等が主体的に活性化に取り組む体制を強化するための支援を行い、活気にあふれた商店街の形成を図る。 中心市街地の空き店舗の減少・魅力向上に努めるため、「中心商業地出店等促進事業補助金」の充実や「学生による空き店舗活用活性化事業」での支援に積極的に取り組む。 「学生による空き店舗活用活性化事業」での支援に積極的に取り組む。 商店街が社会環境の変化に対応し、各地域の特色を活かした商店街の形成に主体的に取組む体制づくりを誘導すると共に、商店街への効果的な補助・支援の仕組みについて検討する。「大道芸フェスティバル実行委員会交付金」については、協賛金が事業の基本資金となるような運営体制を築く。
	重点事業	中心市街地の空き店舗の減少・魅力向上に努めるため、「中心商業地出店等促進事業補助金」の充実や「学生による空き店舗活用活性化事業」での支援に積極的に取り組む。			
	見直し事業	「大道芸フェスティバル実行委員会交付金」については、協賛金が事業の基本資金となるような運営体制を築く。			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	中心商業地出店等促進事業補助金	中心商業地の空き店舗 に出店した経営者	H10	出店舗数	40	40	42,951	36,651	A	見直し	中心商業地の一体的な魅力づくりのため、また、出店者の経営が補助に依存しすぎないものとするため、平成23年度から、商店街が計画等に基づいて誘致する業種等について内装・外装費の補助率を引き上げ、家賃補助の期間を1年から6か月とすることに見直し。中心商店街の空き店舗は依然として多いことから、引き続き、支援を継続していく中で、出店者に対する経営相談の強化など、店舗経営の継続のための支援を商店街、商工会議所と連携して行っていく。
					34	44					

様式 2

No.	事業名		対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						目標値	目標値	事業費	事業費			
						実績値	実績値	(千円)	(千円)			
2	商業共同施設設置・維持管理費補助金		商店街	H10	実施団体	33	33	4,561	5,624	A		消費、商品流通の増加や商店街で安心して買物ができる環境整備のため、街路灯などの維持費に対応していく。
	担当課	商工振興課				27	24					
3	魅力ある商店街等支援事業補助金		商店街、商業組合、工業組合、商店街連盟等	H2	実施団体	40	40	8,848	8,502	A		商店街が既存事業及び新たな事業の実施により販売促進につなげるため、一層の商店街活動の支援に努める。
	担当課	商工振興課				30	29					
4	商業祭交付金		商店街	H13	実施商店街等	1	1	900	900	A		市内商店街が消費者に対し協働で行う唯一の事業であり、消費者へのPR効果が期待され中心商店街においては同日に行われるイベントとの連携により各商店への集客・回遊が図れることから必要性が高い事業であるが、今後は、新たな支援手法や効果的・効率的な支援のあり方についての検討も含め、引き続き継続して支援していく。
	担当課	商工振興課				1	1					
5	大道芸フェスティバル実行委員会交付金		うつのみや大道芸フェスティバル実行委員会	H20	集客数	35,200	35,400	3,000	1,534	B		市民が気軽に楽しめるまちなかの雰囲気を形成するため、商店街との連携体制を構築し、中心商店街の回遊性を向上させるとともに、企業等からの協賛金を事業の基本資本とした運営体制の自立を目標とし、民間への移管も含めた今後のあり方を検討しつつ、支援を行い、事業を継続する。
	担当課	商工振興課				20,000	中止					
6	中心商店街景観整備支援事業補助金		中心商店街で景観整備を行った商店街	H14	景観整備実施店舗数	6	5	15,530	7,820	C		池上通り商店街の景観整備工事は終了とするが、整備を商店街の集客力や回遊性の向上に結びつけるためのソフト事業については商店街と連携し、引き続き研究を行っていく。
	担当課	商工振興課				10	5					
7	中心商店街共同施設整備支援事業補助金		オリオン通り商店街振興組合	H22	実施団体	-	1	-	30,000	C		買い物客の利便性の向上及び商店街の新たな魅力づくりを図るため、商店街と連携し、共同設備（アーケード）の整備を進めてきたが、平成22年度をもって、共同設備（アーケード）の更新が終了したことから、本事業は終了とする。
	担当課	商工振興課				-	1					
施策事業費合計								75,790	91,031			